

桜美林幼稚園自己点検・自己評価の結果について

2013年6月

桜美林幼稚園では、神様から授かったかけがえのない生命が、希望と喜びをもって健やかに育ってほしいと願いつつ、日々保育の業に取り組んでいます。これからも現状に甘んじることなく、更に豊かで安定した環境を整える為に、これまでの歩みをつぶさに振り返り、検証する取り組みを昨年度に引き続き2012年度も実施いたしました。

ここに第四回目となる自己点検・自己評価の結果をご報告させていただきます。

1. 保護者評価

【実施内容】

保護者アンケート	実施日	2013年1月15日～2013年1月25日
教職員による検討	実施日	2013年4月24日・2013年6月26日
調査・検証支援		株式会社トランストラクチャ

保護者の皆様からの評価を総合すると、昨年度同様、概ね満足いただけている結果であったと判断しています。

2012年度は、2011年度の検証に基づき、アネックスの改装工事による「お仕事のお家」と父母会室の充実、ホームページのリニューアル、父母会の回数の試験的な削減など数々の改善策を実施しました。これらの努力が保護者の皆様からの良い評価に繋がったものと確信いたします。また、本園が自己評価を実施していることが以前にも増して保護者の方々に浸透し、より率直なご意見をいただけるようになりました。感謝いたします。

他方、保護者へのコミュニケーションのあり方、保護者活動のあり方、専門教育の充実等については、さらに改善すべき課題があることが浮き彫りになりました。守っていくべき伝統についてはしっかり堅持しつつ、ご指摘いただいたこれらの点については真摯に受け止め、さらに改善を図るよう努力する所存です。

【桜美林幼稚園に入園された理由について】

項目	強く そう思う	そう思う	どちらでもない	そう思わない	全く そう思わない	未回答	合計
保育方針に賛同できたため	17	13	0	0	0	1	31
保育内容がよいため	17	13	0	0	0	1	31
行事・イベントが適度に行われているため	9	20	1	0	0	1	31
キリスト教の精神に基づいた教育が行われているため	13	8	6	3	0	1	31
モンテッソーリ教育（おしごとの部屋）が行われているため	21	8	1	0	0	1	31
みんなの日（縦割り教育）が行われているため	17	10	3	0	0	1	31
専門教育（英語、体育、顕微鏡観察、昆虫観察）が行われているため	15	12	3	0	0	1	31
保育時間が適切であるため	3	13	12	2	0	1	31
預かり保育があるため	2	8	17	2	1	1	31
教職員の人がよいため	20	9	1	0	0	1	31
子どもに対する教職員の数が十分であるため	15	11	2	2	0	1	31
教職員と保護者のコミュニケーションが適切に行われているため	14	12	3	1	0	1	31
園の設備・施設がよいため	11	13	6	0	0	1	31
自然に恵まれているため	11	14	4	1	0	1	31
安全に配慮された環境づくりがされているため	10	14	6	0	0	1	31
園の規模が適切であるため	12	18	0	0	0	1	31
送迎バスがあるため	14	11	3	0	1	2	31
家からの距離が近いため	10	6	7	5	1	2	31
職場との距離が近いため	0	0	9	3	4	15	31
登園の送り迎えに都合がよい立地であるため	7	4	10	5	2	3	31
入園料・保育料が適切であるため	3	15	11	1	0	1	31
近所での評判がよいため	6	9	12	1	0	3	31
給食ではなく、お弁当であるため	7	5	11	6	1	1	31
兄弟が同じ園に通っているため	7	3	7	0	3	11	31
知り合いの子どもが同じ園に通っているため	0	1	14	1	3	12	31
保護者の出身園であるため	2	1	9	0	6	13	31
父母の会、委員会、ボランティア等保護者同士のコミュニケーションの場があるため	4	4	13	4	4	2	31

【桜美林幼稚園の運営について】

項目	強く そう思う	そう思う	どちらでもない	そう思わない	全く そう思わない	未回答	合計
おさまは園で大切にされていると思いますか。	50	45	4	0	0	3	102
園内は安全対策が十分とられていると思いますか。	34	55	8	2	0	3	102
交通安全教室、各種避難引取訓練は安全を高めることに役立っていますか。	32	61	6	0	0	3	102
交通安全・地震・火災・防犯などについて、園は、学園、警察署、消防署と協力して安全を高めていると感じますか。	36	54	9	0	0	3	102
保育中の病気（発熱や嘔吐など）や怪我などの処置は十分なされていますか。	42	50	4	2	1	3	102
施設内で感染症が発生した場合には、迅速な処置がなされていますか。	41	42	7	7	2	3	102
アレルギーの対応について説明を受けましたか。	63	1	0	0	19	19	102
アレルギーについての相談をすることができますか。	40	34	7	0	1	20	102
園のアレルギーの対応は十分なされていますか。	35	39	10	0	0	18	102
「預かり保育」を利用していますか。	73	0	0	0	27	2	102
「預かり保育」は安心して預けられる体制になっていますか。	57	16	0	0	0	29	102
担当の教職員は、おさまのよいところや個性を認めていますか。	49	41	8	1	0	3	102
園の生活において、身近な自然や社会と十分に関わっていますか。	46	48	6	0	0	2	102

園では、お子さまの発達に合わせた豊かな感性を育む活動・遊び等が行われていますか。	48	44	7	1	0	2	102
園には、お子さまの発達や意欲を促すような遊具・教材が十分に用意されていますか。	42	49	7	2	0	2	102
園では、集団生活を通し、社会性やルールを守る態度を育てようとしていますか。	49	46	4	1	0	2	102
園では、あいさつなど、基本的な生活習慣が身につくように指導していますか。	47	50	2	1	0	2	102
園の生活において、自分のことは自分でするなど、自立への指導がなされていますか。	54	43	3	0	0	2	102
園での行事は楽しく、子どもの成長に役立つものになっていますか。	60	37	2	1	0	2	102
お子さまが園の中で落ち着いて過ごせる雰囲気がありますか。	59	35	4	2	0	2	102
お子さまは登園するのを楽しみにし、充実した園生活を過ごしていますか。	64	31	4	1	0	2	102
キリスト教の精神に基づいた教育に満足していますか。	47	43	9	1	0	2	102
モンテッソーリ教育（おしごとの部屋）に満足していますか。	58	34	4	4	0	2	102
みんなの日（縦割り教育）に満足していますか。	56	39	2	3	0	2	102
専門教育（英語、体育、顕微鏡観察、昆虫観察）に満足していますか。	46	38	6	8	2	2	102
お子さまの様子について、保護者への連絡対応は十分にされていますか。	32	47	16	3	2	2	102
保育中の発熱や怪我等の処置、保護者への連絡対応については十分ですか。	44	37	15	4	0	2	102
施設内で感染症が発生した場合には、必要に応じてその状況について連絡がありましたか。	50	43	4	3	0	2	102
園からのたよりやその他の方法で、日々のお子さまの様子や気持ちを知ることができますか。	24	46	22	7	1	2	102
園からのたよりやその他の方法で、指導計画やその内容を知ることができますか。	32	60	8	0	0	2	102
園からのたよりで、必要に応じた感染症や健康のお知らせは役に立っていますか。	41	50	7	2	0	2	102
子育てなどについて、家庭と園に信頼関係があると思いますか。	35	51	11	2	1	2	102
要望や不満は園に対して言いやすいですか。	27	41	21	6	5	2	102
お子さまの気持ちや子育てなどについて、教職員と話したり、相談することができますか。	39	42	13	5	0	3	102
園は要望や不満などにきちんと対応していますか。	38	41	14	3	2	4	102
保護者が大切に考えていることについて、教職員は話を聞く姿勢がありますか。	50	39	8	2	1	2	102
園運営の基本的な考え方について、説明を受けたことがありますか。	27	59	10	3	0	3	102
園の運営方針や保育に関する基本的な考え方は賛同できるものですか。	45	43	10	1	0	3	102
園の指導計画やその内容は適切なものだと感じますか。	44	46	6	3	0	3	102
園の方針・計画に沿った教育が行われていると感じますか。	42	47	9	1	0	3	102
教職員は、保護者やお子さまに関するプライバシーを守っていますか。	42	49	6	2	1	2	102
保育参観、親子触れ合いの会、ボランティア活動などは有意義なものとなっていますか。	47	48	3	2	0	2	102
月一回開かれる父母の会は有意義な内容ですか。	27	39	29	4	1	2	102
父母の会の開催頻度は適切ですか。	23	35	27	10	4	3	102
行事日程の設定は、保護者の状況に十分配慮されていますか。	20	49	27	3	1	2	102
委員会活動（運営・バザー・運動会・ヤング・卒対）に参加したことがありますか。	87	0	0	0	12	3	102
「おにぎりの日」について、改善されたと感じますか。	40	38	16	0	2	6	102
「体操服の常備」について、改善されたと感じますか。	3	34	35	5	9	16	102
「エアコンの設置」について、改善されたと感じますか。	31	40	14	5	7	5	102
「通園バスの追加」について、改善されたと感じますか。	29	43	19	1	1	9	102
お弁当を楽しみながら食べていると思いますか。	36	41	10	0	0	15	102
毎日のお弁当作りは大変ですか。	8	21	29	22	7	15	102
時には給食があっても良いと思いますか。	23	30	11	12	10	16	102
現在のバス乗降場所や園バスの体制・対応は適切に行われていますか。	24	37	15	5	1	20	102
入園に際し、理念、方針、教育目標などについてわかりやすい説明がありましたか。	17	10	1	0	0	3	31
あなたは入園のまえに施設を見学しましたか。	28	0	0	0	1	2	31
入園前の問い合わせや見学の際は、快く対応してくれましたか。	18	9	1	0	0	3	31
当園を総合的にみて満足されていますか。	55	36	7	1	0	3	102

2. 財務の状況

2012年度は、帰属収入合計約8949万円に対し、消費支出合計約1億3663万円を計上いたしました。帰属収入とは、保育料、入園金、国庫からの補助金など、昨年度1年間に本園が受け取った金額の合計です。また、消費支出とは、教職員の人件費、消耗品費など、昨年度1年間に本園が支払った、本園を運営していくのに不可欠なさまざまな支出の合計です。差し引き約4700万円の支出超過となりました。

消費支出の中には、アネックス改装や先般導入した新たな通園バスの減価償却費など、大きな環境改善の費用が含まれています。財政は厳しい状況ですが、園児の保育環境をより良くするためのこのような支出は、他の項目の節約を図る不断の努力により何とか捻出しなければならないものと考えております。幼子を育む業は、神様から負託された重要な使命であると認識し、これからも更なる改善を図っていきたいと考えております。

【消費収入の部】

科目	金額	内訳
学生生徒納付金	56,593,700	
授業料収入		42,138,700
入学金収入		6,110,000
施設設備資金収入		940,000
教育充実費収入		7,405,000
手数料収入	260,000	
入学検定料収入		260,000
寄付金収入	421,521	
特別寄付金収入		200,200
一般寄付金収入		177,300
現物寄付金		44,021
補助金収入	27,211,070	
地方公共団体補助金収入		27,124,070
東京都私学財団補助金収入		87,000
資産運用収入	295,857	
受取利息・配当金収入		118,089
施設設備利用料収入		177,768
資産売却収入	252	
不動産売却収入		0
その他の資産売却収入		252
事業収入	3,475,030	
補助活動収入		932,950
その他の事業収入		2,542,080
雑収入	1,233,758	
入学案内頒布収入		32,500
その他の雑収入		1,201,258
帰属収入合計	89,491,188	
基本金組入額	1,871,172	
消費収入合計	87,620,016	

【消費支出の部】

科目	金額	内訳
人件費	95,946,125	
教員人件費		83,361,718
職員人件費		11,531,672
退職給与引当金繰入額		1,052,735
教育研究経費	17,896,557	
消耗品費		303,582
光熱水費		1,815,935
旅費交通費		7,360
減価償却額		5,930,765
通信運搬費		405,341
印刷製本費		252,336
出版物費		186,349
修繕費		1,083,094
損害保険料		212,784
賃借料		254,367
公租公課		35,538
諸会費		206,584
報酬・委託・手数料		4,147,469
広報費		0
雑費		322,753
管理経費	22,732,479	
消耗品費		912,621
光熱水費		213,861
旅費交通費		56,929
減価償却額		3,512,043
通信運搬費		45,438
印刷製本費		174,069
出版物費		7,018
修繕費		1,148,742
建物取壊し費		0
損害保険料		316,511
賃借料		22,772
公租公課		729,983
諸会費		28,949
会議費		357
報酬・委託・手数料		15,181,154
広報費		64,011
雑費		87,530
福利費		29,006
渉外費		102,004
私立大学等経常費補助金返還金		0
補助活動支出		99,481
借入金等利息	29,400	
借入金利息		29,400
資産処分差額	21,641	
土地処分差額		0
建物処分差額		0
構築物処分差額		2
教育研究用機器備品処分差額		0
その他の機器備品処分差額		0
図書処分差額		21,639
消費支出の部合計	136,626,202	

3. 2012年度運営の状況

(1) 園児数

入園児数：45名（男児17名 女児28名） 2012年4月10日入園

在園児数：145名（男児69名 女児76名） 2012年5月1日現在

年長組：64名（男児31名 女児33名）

年中組：47名（男児25名 女児22名）

年少組：34名（男児13名 女児21名）

（未就園児クラス：41名（男児25名 女児16名））

卒園児数：63名（男児30名 女児33名） 2013年3月14日卒園

(2) 進学先

26小学校〔公立21校(58名) 私立5校(5名)〕

東京都 10校(44名) (町田市立9校43名 八王子市立1校1名)

①忠生3名 ②図師4名 ③小山中央5名 ④小山田7名 ⑤小山10名

⑥小山田南8名 ⑦金井2名 ⑧鶴川第一1名 ⑨小山が丘3名 ⑩宮上1名

神奈川県 11校(14名) (相模原市立10校13名 川崎市立1校1名)

①大野1名 ②大野北1名 ③淵野辺東2名 ④横山1名 ⑤向陽2名

⑥共和1名 ⑦二本松1名 ⑧上溝1名 ⑨淵野辺1名 ⑩弥生1名 ⑪久本1名

(私立) 5校(5名)

①桐朋学園1名 ②玉川学園小学部1名 ③桐蔭学園1名 ④国立学園1名

⑤相模女子大1名

(3) 教職員の状況

園長：1名 教頭：1名

専任教諭：7名(内1名が2012年10月17日から2013年3月31日まで産休取得)

非常勤教諭：6名

専任職員(契約)：1名

事務・用務職員(パート)：4名

バス運転手(委託)：3名

<その他>

養護教諭(学園兼任)：1名

体育講師(学園兼任)：3名

英語講師(契約教員)：1名

園医(嘱託)：1名

園歯科医(嘱託)：1名

薬剤師(嘱託)：1名

(4) 年間教育日数

教育日数：194日 教育週数：41週

一学期：4月9日～7月19日

二学期：9月3日～12月21日

三学期：1月8日～3月15日

※ 夏期保育 7/26 8/28～8/31 計5日間

※ 学校教育法第37条に、年間教育週数は39週を下ってはならないと定められている。

※ 臨時休園について

期間：2012年9月13日(木)～2012年9月19日(水) 7日間(土・日曜日及び祝日を含む)

理由：9月12日に21名の園児がプール熱及び流行性結膜炎の発症がみられ、翌13日には10名の罹患を報告受け、感染拡大を防ぐ為に1週間の臨時休園とした。

処置：発症の疑いのある園児は必ず医療機関で診断を受け、結果を園に報告。

罹患者は、登園時に必ず医療機関から承認を受けた登園許可証を提出。

手洗い・うがい励行の徹底と、検温、目の充血等の細やかな視診。

(5) 一日の教育時間

全日：月曜日、火曜日、木曜日、金曜日 半日：水曜日

全日：1班：8:30～13:30 2班：9:30～14:30

半日：1班：8:30～11:00 2班：9:30～12:00

(6) 年間目標

キリスト教精神を礎として教育の業を展開するにあたり、各学年は以下の通り年間目標を定める。

年少：園児が神様に会い、神様を信頼する子どもとして育つ

年中：神様が一緒にいてくださることを喜べる子どもになる

年長：神様に感謝し、自ら隣人の為に優しさを届けることのできる子どもに育つ

(7)

①主な年間行事

4月：進級式、入園式、イースター礼拝、親子遠足

5月：保育参観Ⅰ、対面式、避難引取り訓練

6月：家庭訪問、花の日礼拝、花配り、父親講演会、公開保育・入園説明会Ⅰ、田植え

7月：年長組一泊保育(大地沢青少年センター)、夏期保育、夕涼み会、プール

8月：夏期保育、プール

9月：災害時引取り訓練、昆虫観察会、クッキー作り、バザー、公開保育・入園説明会Ⅱ

10月：運動会、芋掘り、避難訓練、秋の遠足、稲刈り

11月：交通安全教室、福祉施設訪問、収穫感謝礼拝、野菜配り、親子ふれあいの会、サッカー教室、秋の芸術鑑賞会

12月：クリスマス礼拝・聖誕劇

1月：餅つき、絵本読み聞かせの会、個人面談、入園準備会、創立者召天記念礼拝

2月：どうぶつ村、豆まき、母親講習会 保育参観Ⅱ

3月：生活発表会、顕微鏡観察会、お別れ遠足、卒園式、修了式

毎月最後の金曜日：当月度誕生会

毎月第一水曜日もしくは土曜日：父母の会

②会議及び研修会・講習会実施状況

学年ミーティング（毎月2回）

全体ミーティング（毎月2回）

モンテッソーリ園内研修会（毎月1回）

次年度年間計画ミーティング（1月最終土曜日）

自己点検・自己評価研修会（6月、7月）

キリスト教教育学会（6月）

キリスト教保育連盟西南地区研究会（6月）

こひつじ文庫セミナー（7月）

バス運転手講習会（7月）

町田私立幼稚園協会主催夏季研修会（8月）

防犯訓練（8月）

事故対応能力向上のための実技講習会（8月）

(8) 本園の教育内容の特徴

①キリスト教保育

各クラスでは登園時、降園時には必ず全員で祈りをもってその日を始め、その日を終える。また教会暦に従ってイースター、母の日、花の日、クリスマス等には園全体で礼拝を守り、神様に信頼を寄せ、また共にいて下さることを喜び、感謝できる幼子の心を育てている。

各学年とも、キリスト教保育連盟によって定められた年間主題を基に、各月の暗唱聖句を学び、毎日の礼拝において暗唱している。

2012年度年間主題：愛する者たち、互いに愛し合ひましょう。（Ⅰヨハネ 4:7）

暗唱聖句 4月：信じない者ではなく、信じる者になりなさい。（ヨハネ 20:27）

5月：わたしがここにおります。わたしを遣わしてください。（イザヤ 6:8）

6月：「わたしに従いなさい」と言われた。（マルコ 2:14）

7月：主はわたしを青草の原に休ませ、憩いの水のほとりに伴い魂しいを生き返らせてくださる。（詩編 23:2～3）

8月：いかに幸いなことでしょうか。あなたによって勇気を出し心に広い道を見ている人は。（詩編 84:6）

9月：フィリポは、「来て、見なさい」と言った。（ヨハネ 1:46）

10月：種は芽を出して成長するが、どうしてそうなるのか、その人は知らない。
(マルコ 4:27)

11月：無くした銀貨を見つけましたから、一緒に喜んでください。(ルカ 15:9)

12月：その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。(ヨハネ 1:9)

1月：あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように。(フィリピ 1:9～10)

2月：愛によって造り上げられてゆくのです。(エフェソ 4:16)

3月：光の子として歩みなさい。(エフェソ 5:8)

②バランスの取れた保育

- ・ 通常のクラス単位での保育ばかりでなく、各学期4回、全体を4つのグループに分け、異年齢の園児が共に過ごす縦割り保育を実践。
- ・ 年長組の体育は、学園の体育館で大学の非常勤講師による授業を展開し、個々の運動の力を豊に育む教育を実践。また英語も各学年ネイティブスピーカーによるレッスンを週一回実施。
- ・ 昆虫観察会、顕微鏡観察会においても大学の教授の協力を得て、専門家の指導の下に園児たちが学べる機会を提供。
- ・ 復活の丘では、木登りをしたり、伸びやかに自然の中で駆け回る中で、命の尊さと、自然の大切さを学び、それらに対する正しい理解と態度を養う機会を持つことができた。
- ・ 「お仕事の部屋」と名付け、モンテッソーリ教育を通常保育に取り入れ、園児が自発的に「自分一人でするように手伝って」を言える環境を保育者が整え、園児が好きなことに集中して取り組む中で、個々の才能を豊かに伸ばせる教育を実践。
- ・ 大学教授の指導の下、園庭で遊ぶ時間には、園児は基本的に素足にわらじを履いて遊ぶ。このことにより、土踏まずの発達を促し集中力を養う。また健康管理の一環として、1年中を通し薄着・裸足励行を促し、抵抗力のある強い身体を保てるように配慮している。

③保護者との関わり

幼稚園における育みは、それぞれの家庭と協力して一つの命を育む業であり、毎月の父母の会や保護者が関わる行事では、園長はじめ全教諭たちがそれぞれの立場で働きかけコミュニケーションのパイプを築く努力をしている。またなるべくこまめにここの家庭と連絡を取り合い、信頼関係を保ちながら連携を深め、幼子の成長を共通理解をもって見守ることができるよう努力を続けた。

(9) 中期目標の進捗状況

2010年度に定められた学園の中期目標に基づき、幼稚園においても年度毎に取り組む課題を設定し、幼い命と向き合い、健やかに成長することを願いながら日々保育の業を展開してきた。こ

の3年間、中期目標として定め取り組んできた主な事業の進捗状況は以下のとおりである。

幼稚園の中期目標の課題としてこの3年間計画した主な新規事業は以下のとおりである。

- 2010年度 預かり保育の拡充
- 2011年度 自己点検・自己評価の導入
- 2012年度 未就園児クラスの開講

①預かり保育の拡充

保護者の方々がこの制度をより利用しやすいものとする為、利用者の拡充を目指して規則を大幅に見直した結果、2010年度以降の利用数の推移は以下のとおりである。計画通り年々利用者が増え、2012年度の利用者は1500名を超えた。

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
2008年度	1	2	1	0	0	4	2	2	0	0	8	0	20
2009年度	1	2	9	5	0	19	2	2	10	7	14	37	108
2010年度	25	53	74	56	19	90	62	77	43	81	104	55	739
2011年度	45	89	124	82	8	125	92	111	89	94	136	119	1094
2012年度	75	95	144	96	18	101	141	186	168	179	220	137	1560

②自己点検・自己評価の導入

2007年に改正された「学校教育法施行規則」により、幼稚園においても「学校評価ガイドライン」が示され、幼稚園運営の改善と保護者に対する情報提供を主目的として自己点検・自己評価に取り組むことが求められることとなった。折しも2010年度からの学園の中期目標の一つとして「アカウントビリティの確保」として、自己点検・評価は必須の活動と位置づけられ、幼稚園として、より良い保育環境を保育の更なる充実を目指し積極的に取り組むこととした。

幼稚園としては、初めての取り組みであった為、当初の2年間は、公正な視点で評価を行うことと、幼稚園教諭が自己点検・自己評価の取り組みに対して習熟度を増すことを目的として、専門調査機関(株式会社学研 R&C)が作成した「幼稚園における学校評価」の設問を活用し、保護者アンケートを実施。その後、その調査結果の取り纏めまでを依頼した。その結果に基づき、課題を洗い出すことも行い、教職員全員で検証作業を続け、また今後の保育に生かす為、外部のコンサルタント会社である株式会社トランストラクチャの指導の下で、毎年度、園内研修会を複数回実施した

2012年度は、これまでの経験を生かしつつ、本園独自の取り組みを公正な視点で評価してもらうことを目的として、これまで園内研修会の指導をいただいた株式会社トランストラクチャ

に独自の評価項目の設問作成を依頼し実施した。同社には、これまで通り保護者アンケートを厳正に取り纏めていただき、その結果を基に保護者の視点からの課題を洗い出し、教職員全員で2012年度も検証作業を続け、株式会社トランストラクチャの指導の下で、研修会を続けた。

③未就園児クラスの開講

中期目標における重要な課題であった未就園児クラスの取り組みに2012年度は着手した。当初、募集人員を20名としたが、希望者が予想以上に多くクラス数を倍に増やして対応した。年度上半期(4月～10月)は、特に参加条件を付けずにオープンに募集し、下半期(11月～3月)は、2013年度入園が内定している園児とその保護者を対象として開講した。

開催月	開催日	参加人数	登録者数	活動内容	
5月	8日	19	20	親子で参加 モンテッソーリ教育の活動(手を使った個別活動) 会集(挨拶、絵本の読み聞かせ、手遊び等一斉活動)	
	15日	20	20		
6月	5日	19	20		
	19日	21	21		
7月	3日	21	23		
	10日	21	22		
9月	27日	20	23		
	28日	21	22		
10月	2日	20	23		
	16日	22	22		
11月	28日	39	41		親子別クラスで対応
1月	9日	42	43		未就園児: 手指を使ったモンテッソーリ教育 ままごと、ブロック、粘土、自由画等の自由遊び 製作、リズム、運動遊び等をグループに分かれて活動
	23日	38	45		保護者: オリエンテーション
2月	20日	44	44		入園までの生活習慣と準備について、保育用品、通園方法について
3月	19日	40	40	4月からの保育時間と形態について、等	

(10) 2012年度の主な出来事

①秋山邦久先生による講演会の開催

2012年度の父親講演会は、桜美林大学非常勤講師で、常磐大学大学院臨床心理センター准教授でいらっしゃる秋山邦久先生を講師に招き、100名を超える聴衆を前に、「子どもたちの笑顔の為に」と題して、親として今、私たちにできることについてご講演くださった。

秋山先生は臨床心理の専門家の立場から現代家族の諸問題に私たちは日頃どう向かい合い、幼子をいかに豊かに育めば良いかを、具体的な事例を交えながらわかりやすくご講演くださった。

日 時：2012年6月23日(土曜日) 10:00～12:00

会 場：桜美林大学 サレンバーガー館 1101 教室

テーマ：「子どもたちの笑顔の為に ～今、私たちにできること～」

②地域貢献プログラム「秋の芸術鑑賞会」の開催について

2011年度に開催したところ大変好評だった為、2012年度も本学生涯学習センターの講師でいらっしゃる小澤由佳先生を講師に招き、「シューマンとブラームス ～その生涯と音楽にこめられたメッセージ～」と題して音楽とお話の芸術鑑賞会を開催した。会場として用いた以徳館

2階のホールの素晴らしさを近隣の皆様にも広く知っていただく機会となり、また小澤先生のわかりやすい話術と共にイタリア・Fazioli の奏でる演奏に豊かな時間を過ごしていただくことができた。

日 時：2012年11月20日（火曜日）10:30～12:00

会 場：桜美林大学 以徳館2階 小ホール

出演者：小澤由佳先生

協 力：北村恵美（ピアノ）佐久間尚子（ヴァイオリン）塩飽喜子（ピアノ）

テーマ：「シューマンとブラームス ～その生涯と音楽にこめられたメッセージ」

③中田大輔先生によるトランポリン教室

2012年度より本学の非常勤講師となられたシドニーオリンピックトランポリン競技の日本代表選手であった中田大輔先生を講師に招き、母親を対象としたトランポリン教室を開催した。これは、年長児が2012年度から中田大輔先生に体育の指導を受けることになったが、園児の評判が大変良く、その評価を耳にした母親からは是非母親たちにもトランポリンを中田先生に指導いただける時間を設けてもらいたいとの願いから実現したものであった。

日 時：2013年2月19日（火曜日）10:30～12:00

会 場：桜美林大学 又賜体育館

④中学・高校・大学との連携の深化

学園附属の幼稚園として、2012年度も以下のような大学、高校、中学校との連携、交流プログラムを実施し、学生・生徒のより良き学びの場となった。

・健康福祉学群「保育コース」に学ぶ学生たちの実践の場として

バザー開催に際して、保育専修コースに学ぶ学生たちが、手作りの大型紙芝居、歌のパフォーマンスを披露し、園児たちから自分たちがどのように受け入れられるかを実践の場を通して経験した。

・2012年度春学期、秋学期、春休み期間に3期わたり幼稚園教諭免許取得を目指す本学健康福祉学群の学生5名を教育実習生として受け入れた。

春学期期間：2012年6月18日～6月29日 3年生2名

秋学期期間：2012年11月19日～12月3日 2年生2名

春休み期間：2013年2月4日～2月15日 3年生1名

・総合文化学群「演劇コース」に学ぶ学生たちの学びの実践の場として

園児たちが演じるクリスマスページェントの舞台をより充実させる為、演劇コースに学ぶ学生たちの協力を得て、音響、照明等の舞台裏の操作を担っていただき、より効果的な演出で演じることができ、またそれを保護者の皆さんに披露することができた。

- ・健康福祉学群が 2011 年度に本園の園児と保護者を対象として試行的に取り組んだ「保育フェア」が大変好評だった為、2012 年度からは一般にも開放して開催されることとなった。本園からも多くの園児と保護者が参加し盛況の内に 2012 年度の保育フェアを終えることができた。

日 時：2013 年 1 月 26 日（土曜日）12:00～15:00

会 場：桜美林大学 理化学館・サレンバーガー館

プログラム内容：楽しいクッキング、紙芝居、パネルシアター、
うたと楽器のコンサート等

- ・外国人留学生との交流

福島智子講師の日本語の授業を受講している外国人留学生 21 名が来園。園庭での遊び、年長児のクラスでの自己紹介、国紹介、ゲームなどで園児と交流のひとつきを体験した。

日 時：201 年 6 月 27 日(水)10:00～12:00

- ・生涯学習センター講座「絵本の読み聞かせ講座」の受講生が、森田樹優講師と来園。日頃の学びを幼稚園の現場で実践された。

日 時：2012 年 7 月 9 日(月)・12 月 18 日(火) 春期、秋期各 1 回、計 2 回

- ・境川クリーンアップ作戦への協力

2012 年度も地域貢献を目的として境川クリーンアップ作戦に年長児の絵画を提供。境川沿いのフェンスで展開された「フェンス・デ・ギャラリー」に 63 名の描いた絵を出展。

日 時：2012 年 7 月 29 日(日) 8:00～11:00 （絵の出展は、7/17～7/29）

⑤FC ゼルビア町田によるサッカー教室の開講

2012 年度から本学がオフィシャルスポンサーとなった FC ゼルビア町田からサッカースクールのコーチ 4 名を招き、年長児 62 名を対象にサッカー教室を開講した。

FC ゼルビア町田サッカー教室：

日 時：2012 年 11 月 7 日（水曜日）

ひつじ組：9:30～10:30 はと組：10:30～11:30

以 上